

花みどり振興財団

経営状況説明書

公益財団法人浜松市花みどり振興財団の
平成 27 年度事業計画

目 次

	頁
1 平成 27 年度事業計画の概要	1
2 平成 27 年度予算の状況	7

公益財団法人浜松市花みどり振興財団の平成 27 年度事業計画について

公益財団法人浜松市花みどり振興財団の平成 27 年度事業計画を地方自治法第 243 条の 3 第 2 項の規定に基づき次のとおり報告する。

浜松市長 鈴木 康 友

平成 27 年度

事業計画の概要

平成 27 年度 公益財団法人浜松市花みどり振興財団 事業計画

1 運営の基本方針

公益財団法人浜松市花みどり振興財団では、公益財団法人へ移行後 3 年目を迎え、引き続きはまっつフラワーパークの適切な管理運営を通して「花と緑のまち・浜松」の象徴的施設にふさわしい「感動」と「安らぎ」あふれる魅力ある空間づくりを進めてまいります。

そのうえで、平成 28 年度からの第 2 期指定管理業務の獲得に向けて、今後も財団一丸となって円滑な法人運営に取り組み、法人としての理念や実績、長年培ってきた知識・園芸経験のアピールに努めながら引き続き管理受託できるよう努力いたします。

一方、昨年当会場等で開催された「浜名湖花博 2014」の成功を受け、花やみどりに対する市民意識が再び大きな高まりを見せています。そのような動きを一過性に終わらせることなく、着実に地域に定着させていくとともに、他の花関連施設とも連携し、浜名湖地域の観光振興を図るため「浜名湖花フェスタ」を毎年当園を核として開催いたします。

中核会場である当園においては「世界一美しい桜とチューリップの庭園」の魅力を一層高めるため、今まで以上に PR 戦略を強化し、広域観光拠点としての地盤づくりに努める中で、1,300 本の桜と 60 万球のチューリップが咲き誇る圧倒的なボリューム感に満ちた庭園を創出するとともに、西洋シャクナゲやヘメロカリスの植栽、藤の虹のトンネルづくり等を行い、更に見応えのある庭園を創出します。

このように本年度も、当財団の主要施策である花みどり園芸文化の普及や園芸情報発信機能の強化及び浜名湖周辺の地域振興等のもとより、近隣児童生徒等研修生の職場体験受入及び学校出張講座等「花育」と呼ばれる教育振興事業や園芸福祉（公園福祉）事業の積極的な推進により、心身の健全な発達に貢献する生涯学習拠点としての施設づくりも目指してまいります。

今後も花とみどりに満ちた快適な市民生活の実現のために、公益財団法人として適切な事業進捗に努めるとともに、花みどり文化の拠点機能整備を図り、顧客満足度の向上や花相談窓口の充実等、創意工夫溢れる園運営を実現してまいります。

2 事業内容

【公益目的事業】

「花き類の栽培展示、栽培技術指導及び優良種苗の生産配布による園芸文化の普及と情操教育の推進に関する事業」

- (1) 花き類の栽培技術の指導、花の優良種苗の生産及び配布業務
＜当地の自然環境や栽培要件に適合した種苗の生産及び配布＞
 - ア キク及びフリージアの新品種の導入、試作、展示並びに優良品種の選定
 - イ キクのオリジナル品種の育成及び配布
 - ウ 浜松PCガーベラ部会より依頼された実生苗の生産・育成
 - エ ラン生産者組合との協力連携によるランの育成及び配布

- (2) 園芸文化の普及、情操教育の推進業務
＜生活の質の向上や生きがいづくりとしての地域密着型生涯学習活動の推進＞
 - ア 市民からの日常的な園芸相談の受入
 - イ 「塚本こなみ園芸教室」ほか各種園芸教室の開催
 - ウ 教育関係者及び児童生徒等研修生の職場体験の受入
 - エ 小中学校の総合学習との連携及び学校出張講座等「花育」の推進
 - オ 園内ガイド、園芸作業ボランティアの積極的な受入
 - カ 「車椅子押し隊」学生ボランティアの参加受入による健全な青少年育成を目指す「心根（こころね）」教育の推進
 - キ 蛍の夕べや各種教室開催による教育文化事業の普及と情操教育の涵養推進
 - ク 「園芸療法プログラム」実践に向けた浜松市内2大学との連携協力事業の推進

- (3) 花みどりを基軸とした地域経済・産業の活性化関連業務
＜花みどりの情報発信による市民福祉の増進と浜名湖周辺地域社会の健全な発展と振興＞
 - ア 障害者や高齢者、社会参画が困難な人々への園芸作業機会を通じた公園福祉（園芸福祉）事業の実施
 - イ 観光圏振興に対する取り組みとして、民間主導の実行委員会による「浜名湖花フェスタ」への参画と舘山寺温泉観光協会等関係団体との協力連携
 - ウ 周辺観光関連業者、地域観光施設との連携による誘客活動の推進
 - エ 各種市民緑花ふれあい事業への参画による市民交流の促進
 - オ ニューツーリズム事業としての着地型観光商品造成への積極的参画
 - カ 舘山寺温泉観光協会と連携したガイド付き蛍ツアーの開催等「蛍の見られる温泉街」の実現

(4) 花き類の栽培展示業務

＜3,000種の草花の育成管理による自然環境とのふれあいの場の提供＞

- ア メインエントランス広場及びクリスタルパレス周辺のコンテナ花壇装飾
- イ 早咲きの桜園（館山寺桜、雛桜、雛八丈桜）の充実
- ウ 花梅園の修景及び早春ボタン展示の充実
- エ 早春咲きのハナナと7万球のラッパズイセン及び早咲きチューリップの展示
- オ 植栽数の大幅な増によるチューリップ展示の更なる充実（60万球）
- カ 花いかだによる水上装飾展示
- キ （新規）藤棚の整備とその充実及び藤の「虹のトンネル」の新設
- ク （新規）西洋シャクナゲ、ヘメロカリスの新規植栽展示
- ケ 熱帯スイレンの展示
- コ アメジストセージをメインにした秋花壇の充実
- サ 百種接分菊、トーテムポール菊の栽培展示
- シ ウェルカムガーデン、スマイルガーデン等装飾花壇の活用と新たな癒し空間の創出
- ス モザイカルチャー作品（「ほほえみのハーモニー」等）の装飾とその維持管理

(5) 観賞、散策及び研修用の施設の運営管理業務

＜誰もが安心して利用できる公園としての快適な癒しの空間の提供＞

- ア 夜間開園の充実（夜桜、蛍の夕べ、クリスマス等）
- イ ユニバーサルデザインに対応した散策園路やトイレの改修整備・充実
- ウ 既存園内移動車両（56人乗り・車椅子2台収容）の整備と繁忙期における移動車両レンタルによる園内移動手段の改善・充実
- エ 作業研修、体験学習の場となる育苗・栽培圃場の肥培管理と施設維持
- オ 大温室「クリスタルパレス」の管理運営
- カ 大温室ガーデンシアター展示の年間企画及びその推進
- キ 「花みどり館」での体験学習機能の整備・充実
- ク 熱帯植物の育成管理
- ケ 球根ベゴニアの育成管理
- コ サボテン類、珍しい草花の育成管理
- サ 絶滅危惧種「ヒカリゴケ」の育成管理

(6) 館山寺総合公園の指定管理業務

＜浜松市における園芸・教育文化の象徴的施設としての効率的な管理運営の推進＞

- ア 花の図書館として名高い「はままつフラワーパーク」と隣接する「浜松市動物園」を併せた、日本の都市公園100選でもある「館山寺総合公園」の適正かつ効率的な管理運営

イ 動物園との合同イベント実施による誘客の取り組み

(7) 浜名湖花博 2014 後継事業の円滑な運営実施

ア 平成 27 年度開催「浜名湖花フェスタ 2015」の成功と地域振興拠点の形成

【収益目的事業】

「売店・レストラン・遊具・自動販売機売上等に関する事業」

(1) 園内の売店・レストラン（カフェ含む）・遊具・自動販売機の活用によるお客様の利便性の向上及び販売等に関する業務

（こども遊具広場は 26 年度に引き続き快適なアメニティゾーンの整備に努める）

3 業務の合理化など経営健全化への取り組み

(1) 収入構造の改善と業務の直営化による経費抑制

平成 25 年度より季節ごとの花の充実度や満足度に応じて入園料を設定する「変動料金制」の導入により、メリハリのある経営と自主財源確保に繋がる収入構造の改善という成果を上げることができました。引き続き「変動料金制」を実施いたします。

また、個別委託を最少限にし、直営にて実施することで業務の精度向上と効率化による経費抑制に努めます。

今年度は、展示植物の充実による業務量増加への対応、後継者の育成・園芸技術の伝承を目的に必要最少限で嘱託職員を雇用します。人件費については、引き続き弾力的な人員配置や臨時雇用により抑制に努めます。

区 分	本年度	前年度	増減
正規職員数	29 人	25 人	4 人

(2) CS（顧客満足）を意識した愛される園づくりの推進

施設やサービスなど多様な満足度の指標を設定し、部門別に評点化することで、従来の運営方法から一歩進めた CS（顧客満足）の考え方を導入するとともに、5 S 委員会での取り組み等により顧客満足度の的確な把握とお客様の声を運営に反映させ、入園者の増を図ります。

具体的な取り組みとして、

ア アンケートやメール・電話等を通じて市民から寄せられた意見等をマニュアル化し、その再発防止を徹底します。

イ アンケートで毎月数値化される「顧客満足度値」の向上を図ります。

（平成 27 年度目標満足度値 4.5 点 平成 20～25 年度平均値 4.4 点/5 点満点）

(3) 教育振興事業・自然環境教育活動の推進

平成 24 年度から小中学校の学習指導要領が改訂され、生物育成分野が必修となったことを契機に、学校教育における自然、生態系、植物分野の学習を補完し、自然環境に深い造詣を有する人材育成に取り組めます。具体的な取り組みは次のとおりです。

ア 幼児と低学年の児童を対象（花や緑を通じて自然と人との関わりの入口に案内する事を目的・・・芝人形作り、ポット苗作り教室、親子寄植え教室等）

イ 中・高学年の児童を対象（生命力に感動し、それを守ることの大切さを実感させる事を目的・・・フラワーアレンジメント、ハーブ教室等多彩な教室を展開）

体験学習機能を充実させることで、幅広い客層の誘客効果を高め、入園者増を図ります。

平成 27 年度

予 算 の 状 況

収支予算書(損益ベース)

平成27年4月1日から平成28年3月31日まで

(単位：千円)

科 目	予算額	前年度予算額	増減
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
ア 基本財産運用益	12	12	0
イ 事業収益	367,047	301,085	65,962
入園料収益	156,543	133,691	22,852
レストラン売上収益	44,857	34,483	10,374
売店売上収益	92,142	72,238	19,904
駐車場使用料収益	45,180	35,237	9,943
園内移動車両使用料収益	9,360	6,885	2,475
施設使用料収益	12,060	10,720	1,340
その他使用料収益	6,255	5,181	1,074
受取雑収入	650	2,650	△ 2,000
ウ 受取指定管理料	144,000	141,000	3,000
エ 受取利息	25	25	0
経常収益計	511,084	442,122	68,962
(2) 経常費用			
ア 事業費	468,931	404,590	64,341
報酬	5,750	5,750	0
給料	76,897	66,598	10,299
職員手当	31,739	30,577	1,162
法定福利費	25,590	14,142	11,448
退職給付費用	0	0	0
賃金	63,000	55,000	8,000
旅費交通費	400	400	0
報償費	13,178	9,489	3,689
燃料費	13,000	11,750	1,250
光熱水費	20,700	22,700	△ 2,000
備用品費	10,210	7,572	2,638
印刷製本費	1,842	1,012	830
通信運搬費	1,130	1,570	△ 440
宣伝広告費	4,030	3,500	530
イメージアップ戦略費	0	10,000	△ 10,000

科 目	予算額	前年度予算額	増減
手数料	7,275	6,053	1,222
交際費	30	30	0
会議費	120	120	0
厚生福利費	121	365	△ 244
負担金	195	595	△ 400
被服費	250	200	50
賃借料	4,622	4,122	500
雑費	30	30	0
委託費	28,978	25,096	3,882
修繕費	3,870	3,100	770
保険料	1,091	982	109
原材料費	2,715	1,829	886
肥料農薬費	3,400	2,515	885
種苗費	46,200	34,273	11,927
園内装飾資材費	3,000	2,900	100
売店材料費	57,090	44,420	12,670
食材費	20,425	15,800	4,625
大型イベント費	20,000	20,000	0
棚卸減耗費	100	100	0
減価償却費	1,953	2,000	△ 47
イ 管理費	42,153	37,532	4,621
報酬	5,750	5,750	0
給料	12,677	12,503	174
職員手当	5,025	5,635	△ 610
退職給付費用	0	0	0
法定福利費	5,861	4,314	1,547
備用品費	30	30	0
通信運搬費	120	0	120
手数料	150	0	150
厚生福利費	140	0	140
負担金	400	0	400
委託費	2,700	0	2,700
公課費	300	300	0
消費税	9,000	9,000	0
減価償却費	0	0	0
経常費用計	511,084	442,122	68,962
当期経常増減額	0	0	0

科 目	予算額	前年度予算額	増減
2 経常外増減の部			
(1) 経常外収益	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用	0	0	0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
他会計振替額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	0	0	0
一般正味財産期首残高	115,205	70,926	44,279
一般正味財産期末残高	115,205	70,926	44,279
II 指定正味財産増減の部			
(1) 受取補助金等			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	55,000	55,000	0
指定正味財産期末残高	55,000	55,000	0
III 正味財産期末残高	170,205	125,926	44,279

※収支予算書は「公益法人会計基準の運用指針」(平成20年4月11日内閣府公益認定等委員会)に示された様式に準じて作成している。

予定貸借対照表

平成28年3月31日現在

(単位：千円)

科 目	金 額
I 資産の部	
1 流動資産	
現金	10,000
預金	179,205
貯蔵品	5,000
未収金	5,000
立替金	0
流動資産合計	199,205
2 固定資産	
(1) 基本財産	
預金	55,000
基本財産合計	55,000
(2) 特定資産	
退職給付特定資産	134,977
修繕引当特定資産	0
特定資産合計	134,977
(3) その他固定資産	
有形固定資産	11,000
無形固定資産	0
その他出資金	0
その他固定資産合計	11,000
固定資産合計	200,977
資産合計	400,182

科 目	金 額
II 負債の部	
1 流動負債	
買掛金	10,000
未払金	75,000
未払費用	10,000
預り金	0
修繕引当金	0
流動負債合計	95,000
2 固定負債	
退職給付引当金	134,977
長期借入金	0
固定負債合計	134,977
負債合計	229,977
III 正味財産の部	
1 指定正味財産	
寄付金	50,000
補助金	5,000
指定正味財産合計	55,000
2 一般正味財産	
一般正味財産	115,205
正味財産合計	170,205
負債及び正味財産合計	400,182

予定正味財産増減計算書

平成27年4月1日から平成28年3月31日まで

(単位：千円)

科 目	合 計	公益目的会計	収益事業会計	法人会計
I 一般正味財産増減の部				
1 経常増減の部				
(1) 経常収益				
ア 基本財産運用益	12	12	0	0
イ 事業収益	367,047	213,388	153,659	0
ウ 受取指定管理料	144,000	101,847	0	42,153
エ 受取利息	25	25	0	0
経常収益計	511,084	315,272	153,659	42,153
(2) 経常費用				
ア 事業費	468,931	346,976	121,955	0
イ 管理費	42,153	0	0	42,153
経常費用計	511,084	346,976	121,955	42,153
当期経常増減額	0	△ 31,704	31,704	0
2 経常外増減の部				
(1) 経常外収益	0	0	0	0
経常外収益計	0	0	0	0
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0
他会計振替額	0	10,371	△ 10,371	0
当期一般正味財産増減額	0	△ 21,333	21,333	0
一般正味財産期首残高	115,205	88,935	26,270	0
当期市建設負担金	0	0	0	0
一般正味財産期末残高	115,205	67,602	47,603	0
II 指定正味財産増減の部				
(1) 受取補助金等				
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	55,000	55,000	0	0
指定正味財産期末残高	55,000	55,000	0	0
III 正味財産期末残高	170,205	122,602	47,603	0

資金計画

平成27年4月1日から平成28年3月31日まで

(単位：千円)

科 目	当 年 度 予 定 額
I 受入資金	
1 基本財産運用益	12
2 入園料収益	156,543
3 レストラン売上収益	44,857
4 売店売上収益	92,142
5 駐車場使用料収益	45,180
6 園内移動車両使用料収益	9,360
7 施設使用料収益	12,060
8 その他使用料収益	6,255
9 受取雑収入	650
10 受取指定管理料	144,000
11 受取利息	25
当 期 収 入 合 計	511,084
前 期 繰 越 収 支 差 額	170,205
収 入 合 計	681,289
II 支払資金	
1 事業費支出	468,931
2 管理費支出	42,153
当 期 支 出 合 計	511,084
当 期 収 支 差 額	0
次 期 繰 越 収 支 差 額	170,205

給与費明細

区分	職員数	給 与				法定福利費	合計
		報酬	給料	職員手当	計		
本年度	職員 29人 計 29人	千円 11,500	千円 89,574	千円 36,764	千円 137,838	千円 31,451	千円 169,289
前年度	職員 25人 計 25人	11,500	79,101	36,212	126,813	18,456	145,269
比較	職員 4人 計 4人	0	10,473	552	11,025	12,995	24,020
職員手当の内訳			千円			千円	
			扶養手当	1,686			
			調整手当	0			
			時間外手当	2,760			
			住居手当	0			
			通勤手当	2,307			
			期末手当	17,939			
			勤勉手当	9,660			
			管理職手当	2,412	計	36,764	

